UNITE FOR GOOD
2025～2026年度 RI会長メッセージ
よいことのために手を取りあおう
WEEKLY REPORT
JUNE.17.2026 第2188回

UEDA EAST
上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14
会長／山寺高太郎　幹事／倉島博　会報委員長／松山賢太朗
例　会：毎週水曜日 午後12:30 ～1:30
会　場：上田東急REIホテル
事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501
URL：http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/
E-mail：uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

クラブフォーラム　～一年を振り返る～

■直前会長　渡辺　敏成君

会長のサポートを微力ながら継続いたしました。（東信第二グループからの）ガバナー選出については、あまり影響力を及ばせることはできませんでした。今後のクラブ運営を後押ししたいと思います。

■会長エレクト　田守　正彦君

昨年この場所で、会長の一挙手一投足を観て学ばせて頂くとお話しましたが、山寺会長はじめ、歴代のパスト会長の皆さんの会員へのアンテナのはり方と配慮と実行力を強く感じさせられました。

ラッキー賞・友愛賞にも、多数の方のご協力を頂き有難うございました。また50周年の事業も控えています。会員の力が結集できるよう、エンジンをかける準備もしていきたいと思います。まずは、一つ一つピースを埋めながら例会が楽しみになる運営ができるよう進めたいと思いますので、ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

■副会長(クラブ奉仕)、親睦活動・友好クラブ委員長　水出　博史君

副会長としての仕事はきちんとできていたかと思い返しますと、ラッキー賞と友愛賞の選定以外動けていなかったと思います。親睦活動・友好クラブ委員長の役割のほうが主となってしまいました。

サマーナイト、高岡西ロータリークラブをお迎えしての交流会、松茸例会、クリスマス例会、焼肉例会、最終例会と盛りだくさんでした。

1年間ありがとうございました。

■副会長(奉仕委員会)、国際奉仕委員長　関　邦幸君

国際奉仕委員長、副会長、奉仕委員と、大変肩書きの多い一年間でした。

国際奉仕は、ロータリー財団委員長の母袋卓郎君、米山奨学委員長の母袋創一君のご協力のもと、会員の皆様のおかげで、寄付金を集めることができました。

副会長の仕事としては、ラッキー賞・友愛賞の抽選を行いました。今日もたくさんご提供いただきましたが、会員の皆様のおかげで毎回たくさんのお土産・商品をお渡しすることができました。ご協力有難うございました。

■会計　塩之入永子さん

毎月、きちんと収支報告書を事務局から提出いただき、確認するだけでした。

皆様のおかげで、収入・支出ともほぼ見込みどおりで締められそうです。ご協力ありがとうございました。

■SAA　蓑輪　佳明君

例会では、役員席に一年座らせていただきました。会長・幹事・司会者はお役目のお話、隣に座る会長エレク・副会長はラッキー賞、友愛賞の抽選で大忙し。

わがクラブは、順調に進行される例会であり、姿勢を正してはいるものの何の緊張もなく、食事が出てくるのを楽しみに一年間SAA として席に付かせていただきました。

会場に熊が出没したら、その時は「熊さん、会場から出ていきなさい」とお仕事が有ったのか…。一年間皆さんありがとうございました。

■職業奉仕委員長　玉井権太郎君

職場訪問例会として、㈱マザーツール様を訪問。計測機器から監視カメラの開発販売も手掛ける企業です。社長にご説明をいただき、一昨年新築された社屋を見学させていただきました。11月に開催だったこともあり、恒例の松茸例会は内容が少し変更となりましたが、石井会員にもご配慮をいただき、楽しい会となりました。皆様のご協力ありがとうございました。

■社会奉仕委員長　丸山　浩治君

今年度は、なかなか私が例会に参加出来ず、委員会活動もあまりできませんでしたが、ロータリー財団補助金事業の救命講習会に参加協力させていただきました。

また、継続事業である薬物乱用防止活動につきましては、今月の28日(日)にアリオにて街頭キャ

ンペーンがあります。委員の橋詰洋平さんと、今年度最後の仕事として、頑張って参加してまいります。

■青少年奉仕委員長　　　　　　　　飯島　洋一君

青少年奉仕委員長として、1年間ありがとうございました。あまり前向きな活動が出来ず反省をしています。

地区のローターアクト支援委員会の仕事もしながら、RYLAやローターアクトを通じて若い人たちと接してきました。我々ロータリアンが青少年とどう接していくか…その関わり方次第で、若い人たちも前向きになったり、後ろ向きになったりする事を勉強させてもらいました。

■プログラム委員長　　　　　　　　宮下　博道君

年間40回の例会があり、そのうちの21回をプログラム委員会で決めなければいけないというプレッシャーから始まりました。

毎年ゲストで来ていただいている方や、新入会員のイニシエーションスピーチにも助けられ思ったよりも順調にこなしていくことが出来ました。会員の方からのご紹介などの協力もあり、すべてのプログラムを無事終わらせることが出来ました。

周りの方に助けていただき感謝の一年となりました。ありがとうございました。

■会員増強・職業分類・会員選考委員長　塚田　泰裕君

本年度の戦略計画にある「50周年に向けて55名以上、女性会員5名以上を目指す」を目標とし、最低でも2名の増員をかかげ今期の活動を進めてまいりました。

活動内容としましては、昨年8月に「会員増強を皆で考える例会」の開催や、勧誘パンフレットを作成・配布し、皆さんにもご協力いただきながら進めてまいりました。

今期は6名の方にお声掛けをしてきました。そのうち、1名の入会が決まり、3名の方は入会が難しく、2名の方はもう少し時間が欲しいとの状況です。

来期の中嶋委員長さんに期待申し上げますと共に、私もバックアップしていきたいと思います。皆さまも引き続き会員増強にご協力をお願い致します。

一年間、大変お世話になりました。

■副幹事　　　　　　　　　　　　柳澤　誠君

今年度は倉島幹事が例会に全出席でありましたので、リリーフでの登板はありませんでしたが、様々な場面で学ばせていただきました。

ありがとうございました。

■出席・会場・ニコBOX委員長　　　中嶋　大介君

この1年を振り返りますと、会員の皆様には例会へのご出席やニコBOXへの温かいご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

出席・会場・ニコBOX委員会は、例会が円滑に運営され、会員同士が気持ちよく交流できる環境づくりを担う委員会です。この1年間、多くの会員の皆様に支えていただきながら活動することができました。

ニコBOXでは、会員の皆様の善意と奉仕の心が形となり、クラブ活動を支える大きな力となりました。至らない点もあったかと思いますが、委員会活動にご理解とご協力をいただきましたことに改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

■米山奨学委員長　　　　　　　　母袋　創一君

本奨学金への今年度の寄付目標は、皆様のご理解とご支援により、前期に達成することができました。

ロータリークラブの本制度は日本最大の規模を誇り、これまで多くの有為なる人材を世に出し、彼らは国内外で活躍されておられることから、大きな成果を挙げています。

ロータリークラブに属することは、自らの成長と共に他人の成長にも繋がる果たす役割は大きいので、今後も宜しく願います。

例　会　日　誌　　6月17日（水）　晴れ　　2025～2026　No.39

●司　　会　西森勇太君

●斉　　唱　「それでこそロータリー」

●ラッキー賞　久保友幸君（季節のアレンジ花）

●友 愛 賞　竹花　強君（佐藤君より台北国際大会のお土産）

丸山浩治君（塩之入さんより彩りそうめんとカップゼリー）

橋詰洋平君（水出君より長崎・軍艦島のお土産）

依田育也君（丸山君より長崎のお土産）

倉島　博君（蓑輪君より千葉のお土産とメロン）

蓑輪「銚子電鉄に乗ってきました」

増田篤子さん（上條君より名古屋の味噌煮込みうどんときしめん）

舟見哲也君（竹花君より熱海のお土産）

●６月慶祝　【周年祝い】

小林正人君 32 年　宮本茂幸君 21 年
丸山浩治君８年　宮下博道君８年
飯島裕也君７年　橋詰武利君７年
久保友幸君２年

【結婚記念日祝い】

松山賢太朗君・真佐美さん６／５
一之瀬治君・由美子さん６／６
竹花　強君・かほりさん６／６
高野智宏君・光代さん６／７
玉井権太郎君・綾子さん６／17
宮下秀司君・利子さん６／26
近藤秀樹君・洋子さん６／27

【誕生日祝い】

橋詰洋平君６／１　春原友紀君６／６
竹内　強君６／８　滝澤修一君６／10
倉島　博君６／20　山寺髙太郎君６／24
関　邦幸君６／25　母袋卓郎君６／26

■会長挨拶　**山寺 髙太郎 会長**

理事・役員の方々に感謝しつつ本年度を振り返ってみます。

○一昨年PETSでロータリークラブとは何ぞや？こんなところにもJC時代の人脈があった。

○昨年、年があけるとともに、倉島幹事と年間計画及び財団補助金事業の打ち合わせ。七草の湯から見た烏帽子岳は絶景でした。

○私の大好きな理事打ち合わせ会という名の懇親会。基本方針を発表したが誰も聞いてくれていない。

○財団事業の件で上田市、消防団、北部地区まちづくり協議会への説明と根回し、まず、ロータリークラブってなに？財団補助事業としてOK？

○年度直前にRI会長エレクトがブラジルのマリオさんからイタリヤのアレッツオさんに交代！？ びっくりとどうなってる？

○年度が始まり、7月初例会、いきなりカーン！前触れなしで点鐘。幹事もびっくり! 会場びっくり! 私もびっくり!

○雨の降る陰鬱な夜。今更ガバナーデジグネイト選び？しかし、お二人のパスト会長に感謝。

○サマーナイト　近藤君の技ありにびっくり! 彼は長野県フラワーアレンジメント№1でした。

○救急救命講習会80名の参加　上田中央消防署、市危機管理課、市民参加協働課、消防第3分団・12分団、北部地区12自治会役員、上田市北部地区まちづくり協議会、長野救命医療専門学校そして社会奉仕委員会をはじめクラブの皆様に感謝。

○企業訪問と「まつだけ例会」近年稀な不作にびっくり‼

○クリスマス家族会　黒坂ご夫妻ありがとうございました。

○5クラブ合同新年会　開会の辞が挨拶と切り出され、えっえーえ‼

○高岡西クラブさんの来訪準備と来田で倉島幹事大活躍、たくさんのご参加ありがとうございました。

○国政選挙に市長・市議選挙とロータリークラブとの関わり合い方と基本定款の確認。

○長野大学ロータアクト設立でびっくり。

○何回か仕事や世間の義理事や会社の会議とロータリー

活動がダブル・トリプルブッキング、多くの方々にご配慮頂きました。

大変たくさんの会員の皆様に本当にお世話になりました。皆様のご配慮や温かいご支援・ご協力のお陰でクラブとして、会長としてなんとか次年度に引き継げると思いますが、このまま平穏に6月30日を迎えたいと切に願っています。

■幹事報告　　　　　　　　　　　　　**倉島　博 幹事**

・米山奨学会よりハイライトよねやま315号が届く。
・地区より出前講座の報告依頼が届く。
・さくら国際高校荒井理事長様より、お礼状が届く。

■国際大会参加報告　　**地区RLI委員長　佐藤友則君**

6月14日～17日、台湾台北で開催された今年度の国際大会に、地区委員長として参加された報告がありました。

開会式は2回行われ、ガバナーナイトは100名以上の参加があったとのこと。大会バナーをお土産にいただきました。

■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本　日	52	50	16	—	68.00%
前々回	52	49	20	14	87.76%

ニコニコBOX　（敬称略）

飯島（洋）、上條、工藤、倉島、後藤、小林、佐藤、関
高野、滝澤（修）、竹花、玉井、田守、塚田、手塚（た）
中嶋、西森、橋詰（洋）、舟見、増田、丸山、村上、母袋（創）
山寺、依田、渡辺

※山寺高太郎君／寒暖差激しい時期です。皆様、体調管理にお気をつけ下さい。
※渡辺敏成君／クラブフォーラム御苦労様です。特に言う事がないので黙秘権を使わせて下さい。
※飯島洋一君／会長・幹事の際立ったキャラクターのおかげで楽しい1年でした。
※増田篤子さん／田守年度の1回目の理事会でした。
※滝澤修一君／今週末は長崎です。

本日の金額／33,000円　　累計／1,268,000円

世界中のロータリー会員が
交流と再会のために台北に集結

文：Etelka Lehoczky　（RIのサイトより）

2026年ロータリー国際大会の開会式は、鳴り響く太鼓の轟きで幕を開けました。ステージでは、太鼓奏者が刻む力強いリズムに導かれ、台北の国際色豊かな魅力とロータリーのグローバルな精神を表すかのように、伝統と現代が融合した鮮やかな演出が繰り広げられました。

6月14日、国際ロータリー会長フランチェスコ・アレッツォ氏（イタリア、ラグーザ・RC会員）が開会式の壇上に立ち、参加者を歓迎しました。会長としての1年間に多くのロータリアンと出会ってきた自身の経験を振り返り、「どこへ行っても、そこで目にしたのは同じ精神でした。言葉も、食べ物も、おもてなしの仕方も違いますが、ロータリーの心は常に同じです」と述べました。

本大会では、世界中のRCとRACの会員、プログラムの参加者、学友、ゲストが交流や再会を楽しむだけでなく、多彩なオピニオンリーダーが講演します。基調講演者のマララ・ユスフザイ氏は、史上最年少のノーベル平和賞受賞者であり、女子教育の提唱者です。ロータリー平和フェローであるナタリー・エメリー氏は、世界食糧計画（WFP）で人道的緊急事態に直面する国々へのグローバルな指針提供と戦略支援を担当しています。サロメ・アグバロジ氏は、2023-24年全米青少年詩人代表に選ばれたナイジェリア系米国人の詩人です。（中略）

本会議のほかにも、数十の分科会が行われる予定となっており、その多くでロータリーの重点分野―平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展、環境の保護―にクラブがどのように取り組んでいるかが紹介されます。

特に、多くの参加者が関心を抱いているのは「疾病との闘い」です。ロータリーは現在、ポリオ根絶の取り組みにおいて困難な最終段階にあり、世界のほぼすべての地域からポリオがなくなったものの、根絶にはまだ至っていません。

アレッツォ会長は開会式でこう述べました。「今年は厳しい年でした。資金調達が困難となり、各国政府も新たな圧力に直面しました。しかし、たとえ世界がこの問題に疲弊して関心を失ったとしても、私たちはポリオ根絶の取り組みを決してやめません。私たちは、世界の子どもたちとの約束を守り抜かなければなりません」

会長また、ロータリーのポリオ予防接種活動の視察でパキスタンを訪れた際に、ポリオによるまひで足が動かなくなった3歳ほどの幼い少女を目にした経験について語りました。「この少女こそ、私たちが（ポリオ根絶の）取り組みをやめてはならない理由です」

分科会では、こうした重要課題に関する活動報告に加え、ロータリー会員が世界に変化をもたらすための数々の方法が取り上げられます。「ロータリー・ライジング：次世代の参加促進」「アニメを通じた環境教育：ごみゼロの取り組みを促進」「AIによるロータリーの使命推進」といった分科会が予定されています。（後略）

［次週のプログラム］　**7月1（水）慶祝、会長基本方針発表、役員・理事挨拶**